



第28回 三浦屋

サロンコンサート

Salon Concert

ヴァイオリンデュオ デュオプリマ

ヴァイオリン 神谷未穂

磯絵里子

ピアノ 中川賢一



10月12日(土)

9月の訪れとともに秋の気配が感じられるようになってまいりました。皆様にはいつも三浦屋をご贖頂きありがたく存じます。

昨年秋のサロンコンサートを開催いたしましたときに「今後は春と秋年2回、震災前のように開催していきます」とお知らせしたにもかかわらず今年の春は諸事情により開催することができませんでした。皆様からお問い合わせを多数いただき申し訳ございませんでした。

さて、今回1年ぶりのサロンコンサートで演奏していただくのは“奇跡のヴァイオリンデュオ!”とも称される「デュオプリマ」、神谷未穂さんと磯絵里子さんの従姉妹同士のふたりから成るユニット。神谷未穂さんは一昨年も当店で演奏していただき、現在仙台フィルハーモニーオーケストラのコンサートマスターを務め、NHK仙台の情報番組「ひるはび」にもたびたび出演しておりますのでご存知の方も多いと思われます。従姉妹の磯絵里子さんはソリストとして東京フィル、日本フィル、プラハ室内管、チェコフィルなど国内外著名オーケストラと共演のほかヤマハ・ヴァイオリンのイメージキャラクターを務めております。多忙を極めるこの2人の出演がやっと実現いたしました。この2人をサポートするピアニストは当店ではおなじみの中川賢一さん。中川さんはピアニストそして指揮者(特に現代オペラでは高い評価を得ている)として国内外で活躍。デュオプリマの10周年を記念し各地で開催されたコンサートでも共演しており、まさに息のあった演奏を皆様にお届けできることと思っております。



お早目のご予約をお待ちいたしております

津山 三浦屋 0225-68-2003

昼の部 12:30~ お食事
2:00~ コンサート

夜の部 6:00~ お食事
7:30~ コンサート

お一人様 ¥10,000 (税込 ワンドリンク付)

神谷未穂 (かみやみほ)

ソロ&デュオプリマ (ヴァイオリン・デュオ 磯絵里子&神谷未穂) の活動で、日本とフランスを頻繁に行き来し、ラジオ・テレビ・コンサート・音楽誌ほか各誌など、国際的な幅広い活動を行っている。桐朋学園大学を首席で卒業後、ハノーファー国立音楽大学に留学。文化庁派遣在外研究員として同大を首席卒業、同大ソリストクラスを最優秀賞を得て卒業。パリ国立高等音楽院最高過程を修了後はパリを本拠地に、ソリスト、コンマスとして国内外のオーケストラと共演を重ねてきた。ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールでのパガニーニ賞受賞をはじめ国内外のコンクール受賞多数。宮崎、仙クラ、サイトウキネン、サンドニ、モントゼー、ナント等の音楽祭に参加。国内外のオーケストラと多数共演。フランスではLa Chambre Philharmonique (Krivine指揮) のメンバーとしても活動。2010年9月より、仙台フィルのコンサートマスターに就任。

磯絵里子 (いそえりこ)

桐朋学園大学卒業後、その才能を高く評価したI.オイストラフ氏に招かれ、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学。修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクール第3位あわせてRoman Julia Lopez賞受賞、ノボシビルスク国際バイオリンコンクール第3位等内外のコンクールに多数入賞を果たす。世界各地でのリサイタル、ソリストとして日フィル、東フィル、プラハ室内管、チェコフィル、ヴェネツィア室内など国内外主要オーケストラと共演し着実に評価をあげる。「題名のない音楽会21」「クラシック倶楽部」ほかテレビ・ラジオ出演、宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラ、ヴェルビエ音楽祭などに参加するなど多方面で活躍し、様式感としなやかな歌心に溢れた演奏は温かで気さくな人柄ともあいまって、多くの聴衆を魅了している。現在FMヨコハマ「SEASIDE CLASSIC」(毎週日曜日朝7:43~)でパーソナリティを務めている。ソロ活動に加え「デュオ・プリマ」「Ensemble Φ (ファイ)」など多彩に活躍中。

中川賢一 (なかがわけんいち)

桐朋学園大学音楽学部でピアノを専攻し、同時に指揮も学ぶ。卒業後渡欧し、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科最高課程、特別課程をそれぞれ優秀、首席の成績を収め修了。1998年帰国後はソロ、室内楽、指揮で活動。新作初演も多い。NHK-FM「名曲リサイタル」「現代の音楽」などに出演し、様々なオーケストラとも協演している。サントリーサマーフェスティバル、東京の夏音楽祭、武生国際音楽祭などの音楽祭に度々参加。夏木マリの「印象派」シリーズに連続出演、音楽監督も行う他、故・頼近美津子、伊藤ひろ子、平野文らの朗読と音楽、またダンスとの共演など、他分野とのコラボレーションも多い。「Just Composed in Yokohama」、「超難解音楽祭」(仙台)音楽監督・プロデュースなどを行う。指揮者としては、東京室内歌劇場においてフィリップ・グラスの「流刑地」、パウル・ヒンデミットの「往きと帰り」、マイケル・ナイマンの「妻を帽子と間違えた男」などの現代オペラを指揮。また、芥川也寸志作曲、オペラ「ヒロシマのオルフェ」では広島交響楽団と共演。東京フィルハーモニー交響楽団とは、2010年タップダンサーの熊谷和徳との共演、2011年しらかわホールにてマーラー作曲「交響曲第9番」(瀬尾和紀編曲)を指揮。2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。